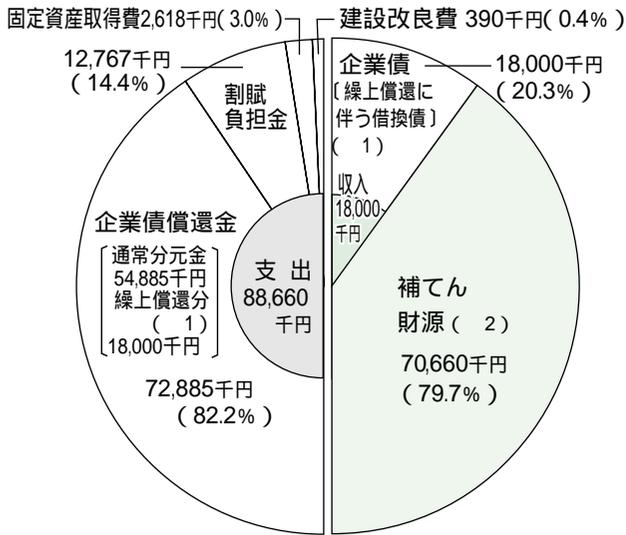


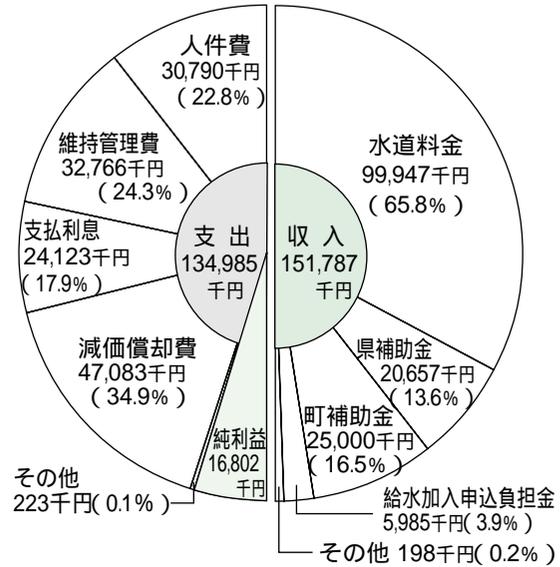
水道事業会計決算

資本的収支
(水道施設の建設等に係る収支)



1 繰上償還(利率6%以上)に伴う企業債の借換
2 現金の支出を必要としない減価償却費等、今までの資金で補てんしています。

収益的収支
(水道水をつくり、供給することに係る収支)



職員による除草

町では、平成18年3月に策定した「行財政改革プラン」に基づき、各種の行財政改革を進めております。

このプランは、「事務事業の見直し」、「民間委託等の推進」、「定員管理の適正化」を重点目標として、平成17年度から平成21年度までの5年間で、5億6100万円の削減を図ることとしています。

平成20年度は約1億9000万円の削減を図り、平成17年度からの4年間で目標額を上回る5億7700万円の財政効果を上げることができました。

町の行財政改革 取り組んでいます

行財政改革の主な取り組み内容と効果額

	内容	効果額
歳入 (収入増)	町税滞納者に対して夜間臨戸徴収等を実施	13,632千円
	学童保育所の定員増と保育料の引き上げ	379千円
	ふれあいプラザ使用料の引き上げ	644千円
	未利用の町有地の貸付(国土交通省・JAかとり)	931千円
	町広報に有料広告を掲載	203千円
歳出 (削減)	適正な職員の定員管理(H16に比べ8人減)	55,970千円
	管理職手当の定額化、地域手当の廃止	11,975千円
	職員給与の削減(管理職 3%)	2,867千円
	特別職職員の給与の削減	3,415千円
	議会議員の報酬の削減と定数の削減(16人を10人に)	18,417千円
	非常勤特別職職員の報酬の削減(平均20%)	1,541千円
	農業委員、教育委員、選挙管理委員、監査委員の報酬の削減	4,031千円
	公共施設等の維持管理委託料の見直し	15,866千円
各種団体への補助金の見直し	4,603千円	

